

殺虫剤

アクセルフロアブル



殺虫剤分類

22B

農林水産省登録	第22461号
有効成分	メタフルミゾン 25.0%
その他化管法該当成分	ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル（1種）1.3%
性状	類白色水溶性粘稠懸濁液体
人畜毒性	普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）
有効年限	4年
包装	500mL × 20本

特長

✓ 難防除害虫や既存剤抵抗性害虫に有効
難防除害虫の大型チョウ目やキスジノミハムシにも優れた効果を発揮します。

✓ ローテーション防除に活用しやすい
新しい化学構造の殺虫剤なので、既存剤抵抗性害虫にも有効です。そのため、ローテーション防除に組み入れやすい薬剤です。

✓ 害虫からの食害を停止させます
作物への食害を抑制するため、きれいな作物の生産に役立ちます。

適用作物と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メタフルミゾンを含む農薬の総使用回数
かんきつ	ゴマダラカミキリ	200倍	5~200ℓ	収穫7日前まで	3回以内	主幹から株元に散布	3回以内
	アゲハ類 ヨモギエダシャク クワノミハムシ ミカンナガタマムシ	1000~2000倍	200~700ℓ			散布	
もも類 すもも	ケムシ類	1000倍	5~200ℓ	2回以内	散布	4回以内 (樹幹散布は2回以内、散布は2回以内)	
	クビアカツヤカミキリ	100~200倍			樹幹散布		
キウイフルーツ	ケムシ類	1000倍	200~700ℓ	3回以内	散布	3回以内	
うめ	ケムシ類 クビアカツヤカミキリ						
	とうもろこし 飼料用とうもろこし(子実)	ケシキスイ類	1000~2000倍	100~300ℓ	3回以内	散布	3回以内
アワノメイガ ツマジロクサヨトウ		1000倍					
アスパラガス	ハスモンヨトウ	1000~2000倍	100~800ℓ	3回以内	散布	3回以内	
ごぼう	ハスモンヨトウ ヒョウタンゾウムシ類	1000倍	100~300ℓ				
	トマト ミニトマト	トマトキバガ オオタバコガ ハスモンヨトウ		1000~2000倍			
ピーマン		オオタバコガ					
なす	オオタバコガ ニジュウヤホシテントウ ハスモンヨトウ	1000倍	100~300ℓ	2回以内	散布	2回以内	
	にんじん						ハスモンヨトウ ヒョウタンゾウムシ類
ねぎ	シロイチモジヨトウ	1000倍	100~300ℓ	2回以内	無人航空機による散布	2回以内	
		8倍	1.6ℓ				
		10倍	2ℓ				
		16倍	3.2ℓ				
ほうれんそう	ハスモンヨトウ シロオビノメイガ	1000~2000倍	100~300ℓ	3回以内	散布	3回以内	
	ウリハムシモドキ						
キャベツ	コナガ アオムシ キスジノミハムシ	1000倍	100~300ℓ	収穫前日まで	無人航空機による散布	3回以内	
	ハイマダラノメイガ ハスモンヨトウ オオタバコガ ヨトウムシ ウワバ類	1000~2000倍					
	コナガ アオムシ	8倍					1.6ℓ
	ハスモンヨトウ オオタバコガ ヨトウムシ ウワバ類	10倍					2ℓ
	コナガ	16倍	3.2ℓ	3回以内		3回以内	

はくさい	アオムシ ハイマダラノメイガ キスジノミハムシ ダイコンハムシ	1000倍	100~300ℓ	2回以内	無人航空機による散布	2回以内				
	ヨトウムシ ハスモンヨトウ カブラハバチ類	1000~2000倍					散布			
	コナガ アオムシ キスジノミハムシ ダイコンハムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ カブラハバチ類	8倍	1.6ℓ				無人航空機による散布			
		10倍	2ℓ							
レタス	ハスモンヨトウ オオタバコガ	1000~2000倍	100~300ℓ		3回以内		無人航空機による散布	3回以内		
		8倍	1.6ℓ						散布	
		10倍	2ℓ						無人航空機による散布	
		16倍	3.2ℓ							
非結球レタス	オオタバコガ	1000~2000倍	100~300ℓ				2回以内		無人航空機による散布	2回以内
		8倍	1.6ℓ							
		10倍	2ℓ							
		16倍	3.2ℓ							
カリフラワー	コナガ アオムシ ヨトウムシ	1000倍	100~300ℓ	3回以内		散布			2回以内	
ブロッコリー	ヨトウムシ ハスモンヨトウ	1000~2000倍								
	コナガ	1000倍								
	ヨトウムシ ハスモンヨトウ	8倍			1.6ℓ					
	コナガ	10倍	2ℓ							
非結球あぶらな 科葉菜類	コナガ キスジノミハムシ	1000倍	100~300ℓ		収獲7日前まで	散布		2回以内		
	ハスモンヨトウ	2000倍								
だいこん	キスジノミハムシ ダイコンハムシ	1000倍	100~300ℓ			収獲3日前まで	散布			2回以内
	ハイマダラノメイガ ヨトウムシ カブラハバチ類	1000~2000倍								
かぶ	コナガ アオムシ キスジノミハムシ	1000倍	100~300ℓ			収獲前日まで	無人航空機による散布			3回以内
えだまめ だいず	ハスモンヨトウ	1000~2000倍		100~300ℓ						
	フタスジヒメハムシ	1000倍								
しょうが	ハスモンヨトウ アワノメイガ	1000~2000倍		3.2ℓ					3回以内	
	ハスモンヨトウ ナカジロシタバ ヨツモンカメノ コハムシ	10~16倍	0.8~1.6ℓ							
かんしょ	ハスモンヨトウ ナカジロシタバ ヨツモンカメノ コハムシ	1000~2000倍	100~300ℓ	発生初期			散布			
さといも	ハスモンヨトウ									
食用ミニバラ	オオタバコガ	1000倍								
きく	オオタバコガ シロイチモジ トウ	1000~2000倍								
花き類・観葉植物 (きくを除く)	オオタバコガ	1000倍								
樹木類										

(さくらを除く)	ケムシ類	1000~4000倍	200~700ℓ		6回以内		6回以内
さくら	ケムシ類			成虫発生直前~ 成虫発生期		主幹から株元に 散布	
	クビアカツヤカ ミキリ	1000倍					
		200倍	5~200ℓ				
		100倍	—	—		木屑排出孔を中心 に薬液が滴る まで樹幹注入	
たばこ	ヨトウムシ	1000~2000倍	25~180ℓ	収穫10日前まで	2回以内	散布	2回以内
	タバコアオムシ	2000倍					

※本内容は2024年9月18日付の登録内容に基づいています。

効果・薬害等の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
 - 使用前に容器を軽く振ってください。
 - 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。
 - 植物体への浸透移行による効果は弱いので、かけ残しのないように葉の表裏に十分散布してください。
 - 本剤をクビアカツヤカミキリに使用する場合は、次の点に注意してください。
 - ・ 樹幹注入で使用する場合は、被害樹の加害痕である木屑排出孔の木屑を除去した後に排出孔内に薬液が滴るまで注入してください。
 - ・ 散布で使用する場合は、樹幹部および主枝に十分量散布してください。
 - すももに樹幹散布で使用する場合は、散布液が果実にかかると汚れを生じるおそれがあるので、果実にかからないように十分注意してください。
 - 無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ってください。
 - ・ 散布は散布機種 of 散布基準に従って実施してください。
 - ・ 散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ・ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - ・ 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に被害を生じるおそれがあるので、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
 - ・ 散布終了後は次の項目を守ってください。
1. 使用後の空の容器は放置せず、適切に処理してください。
 2. 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
 - 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

安全使用上の注意事項



- 眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。
- 樹幹注入の際は手袋などを着用してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中および散布後（少なくとも使用当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ・ ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにしてください。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
 - ・ 関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

魚毒性等

この登録に係る使用方法では問題ありません。

保管

密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して冷涼な所に保管してください。